第58号
（2012年12月）

エル・エンジェルボランティア便り

発行所
NPO　エル・エンジェル国際ボランティア協会
〒243-0406
神奈川県海老名市国分北二丁目１７番１６号
tel 046-236-0001　　fax046-236-0002
http://www.l-angel.org/

聖歌が街を包みます候、当協会も聖なるこころを持ってボランティアに臨みたく思っています。インドの孤児院の子供たちは日々つつがなく平穏に過ごしているとのことで、今回は孤児院便りを休ませていただきました。

☆ 被災地への支援

寒さが増します12月。東北の被災地では2度目の冬を迎えるにあたり、厳しい寒さの中、仮設での生活はどんなにか辛抱を強いられていらっしゃることかと案じられる日々です。

4月に訪れた牡鹿半島の桜畑仮設住宅に住まわれる方々のほとんどは漁業に携わっていて、主にワカメ・牡蠣の養殖をなさっています。当協会との窓口になって下さっている佐々木信子様はワカメ採りの折、出会わせて頂いた方で、以後、現地の様子を詳しくお知らせいただいております。

今回、ご当地からのご要望で、**牡蠣貝を剥く道具**、（ステンマイルドT型）**60丁**を漁業組合を経て送らせていただきました。

また、**埼玉県のT・S様**のご尽力で**湯たんぽカバー126枚**を縫って送っていただきました。

彼女はお忙しいお仕事の合間をぬってのこととてそのお心に頭が下がります。

まさしく**“愛　多ければ　なすこと多し”**のお姿です。

“できれば、手芸用の毛糸があったら皆さんに喜ばれます。”遠慮がちにお伝えくださっています。冬の間、女性たちは集会所に集まって互いを励まし合いながら手芸をなさっているそうです。復興の遅れで収入も激減し、土地柄、交通の便も悪く、買い物をするには街まで出なくてはなりませんが、冬は山越えの道が凍り、ほとんど身を寄せ合って過ごす日々です。とのお話に、手芸用の毛糸を送らせていただきます。

この震災に際し、今後も支援を続けさせていただく所存です。ご理解・ご支援を宜しくお願いいたします。

心の中に蒔かれた思いというすべてが、
それ自身と同種のものを生み出します。

☆ ネパール訪問

十一月十七日～十一月二十五日、エル・エンジェル校・ゴルメスワリー校・ドリケル校三校をボランティア訪問しました。ゴルメスワリー校、ドリケル校は次号にてお知らせさせて頂きます。

○ エル・エンジェル校訪問

エル・エンジェル校訪問にあたって**広島のI様**は押し花に使う教材用の花や台紙などすべての物を支度してきて下さいました。又同じ**広島のM様**よりたくさんの本の付録を送って頂きお土産にさせて頂きました。そして今年も**ファイザー（株）様**よりご寄附頂き技術大会用のプラモデルを買うことが出来ました。感謝申し上げます。

○ 挨拶

理事長は生徒達に「あなた達に会えて嬉しい」と挨拶された後に「この学校が出来て15年経ちますこの学校の理念がわかりますかと問われました。**『知識を得、ダルマを育み、世界に貢献する』**手を挙げ指名された生徒がしっかりと答えました。**「世界に貢献する人になって欲しい**その為に一週間に一度でいいですボランティアをしてください。誰かの役に立つことをしてください、**この学校はカーストがありませんみんな同じです。世界一をめざして頑張りましょう」**そう言われました。私達も又理念とボランティアの心を噛みしめました。

○ 校舎正面に時計を

日本から持参し、エル・エンジェル校1階正面の壁に**日本製**の大きな時計を掛けました。

雨風に耐えられる**防水型でソーラー**で動く時計です。日が昇り、日が沈み、時間にしばられず、ゆったりとした国の山あいの学校で時計が時を刻み始めました。

大いに学び、未来をつなぐ子ども達をチクタク・チクタクと見守ってくれると思いました。

○ 避難してきた子との出逢い

エル・エンジェル校に被害に遭って家族を失った女の子がいます。当協会の計らいで学校に住み同校の一員として学んでいます。今回、その子に逢うことが出来ました。

理事長が女の子を抱きしめ「私たちみんな貴女のお母さんよ」との言葉に女の子は涙されました。エル・エンジェル校の皆さんの温かい保護の中で癒されていきますよう祈らずにはいられません。

理事長がかねがね「世界の一人でも幸せになってくれたら」その言葉に私たちの活動の源があることを改めて思わせていただきました。

○ 第5回 競技・技術大会

1・2年　工作

かんむりは飾りの形を切り抜き両面テープで付けるようにしました。そして子ども達が出来ることを残しながら支度して持っていきました。頭にかぶった子ども達は可愛らしくとても嬉しそうでした。

折り紙で紙ふうせんも作りました。折りあがったふうせんで、ポンポンとみんなで遊んで楽しんでいました。

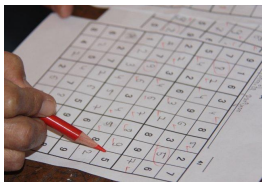
3・4年　粘土

M子さんが一人で指導し頑張りました。教室に入ると子ども達が一斉に立ち上がりました。M子さんが「おはようございます」と言うと「ナマステ」と挨拶が返って来ました。紙コップに三色の粘土を貼り付けて両側に耳を付け、真ん中に鼻を付け、目を書いたペン立てや花・動物などの作品を見せると子ども達は、ペン立てを作り出しました。

「後方の女の子が粘土がうまく付かなくて暗い顔をしていたので水を吹き付け手伝ってあげたら上手に出来上がりいっぺんに明るい笑顔になったのがとても嬉しかった」との感想でした。可愛い作品が出来上がり子どもの喜ぶ顔を見て又、来年に思いを馳せたようです。

5・6・7年　数独

初めてのことで、どの位の難易度がいいのか、それとも簡単でいいのかなど悩み、何度も何度も問題を作り直しました。作っては意見を聞き、又作り直しの連続で、パソコンと頭がゴチャゴチャになる日々が続きました。生徒も最初は難しかったようでなかなか答案がきませんでしたが、要領が分かると次々に答案が提出されT子さんは、次の問題を渡すのに少し慌てるほどでした。何種類もの問題に奮闘したT子さん、ご自身たくさんの勉強になりましたと輝いていました。



8・9・10年女子　押し花

Iさんが庭で自分で育てた花を摘み、又綺麗な花をそれぞれに買い足し2ヶ月も前から20種類ほどの花びらを押し花用に乾燥機に掛けプレスし、手間ひまかけて万全の準備をしてくださったお陰です。生徒一人一人にピンセットの使い方を教え、見本のプリントを見ながら、ピンセットで花びら一枚一枚台紙に移していく作業、その後接着剤で落ちないよう付けていく細かな神経を必要とします。緊張の中にも綺麗に出来上がっていく喜びに一生懸命で生徒の作品は、甲乙つけがたい驚きの出来栄えでしたとIさんは準備の喜びと共に二重の喜びを味わっていられるようでした。

「ひとつひとつに子ども達が幸せになりますように」と願いを込めて作られたシュシュも女子全員にお配りになられました。

（出来上がり）

8・9・10年男子　プラ

四駆が快走！・9年　男子

エル・エンジェル校で第5回技術競技大会を開催した。8年から10年の男子生徒は今年も**ファイザー・ホールディング（株）様**からご寄附をいただきプラモデルレーサミニ四駆製作に挑戦した。

50名余の生徒達を屋上に集めてクラス別に車座になって作業を開始した。今回のプラモデル作りは3回目で、今までのやり方を見直して、担任の先生や協力してくれた卒業生を前面に出して組み立て指導ができるようにしたことで、日本人ボランテイアは脇役に徹し、生徒達の自主性を重んじた。また、生徒達には、勝手に作業を進めないように組立手順書を渡さず、その代わりに英語、ネパール語で記したA2版に拡大した組立手順書を全員が見られるよう順次側面に貼り付けた。

午前10時半頃から開始した組立作業は、午前中には大半の生徒達は作業を終了し、電池を使った動作テストでも動作不良のプラモデルは、9年16台のうち1台で、若干の手直しで全数の動作が確認された。

午後は校庭に作られたサーキット場で生徒達が作ったプラモデルの走行競技テストを実施した。競技は3人一組でサーキットを3周走行する方法で、時間測定をしてクラス毎に優勝者を決定した。最後には8～10年の優勝者同士で勝負を競って、8年のラクス・タパ君が最高のタイムで栄冠を勝ち取り、**最優秀賞金10，000ルピー**をゲットした。

過去２回実施したプラモデル作りに比べて、今回はきわめて短時間かつスムーズに作業が終始したが、生徒達のレベルが向上し、生徒達自身で何とかやりとげようとする意識が芽生えて、これに担任の先生が応えてくれたと思う。プラモデルの小さな部品を無くしたり、先走って間違って組立てるトラブルも殆どなかったことも驚きであった。また、今まで現地製の電池不良が多かったが、今回は**日本製**を使ったために、故障の原因の切り分けがスムーズにできたことも良かった。

最後に、屋上での作業終了後、生徒たちは散乱した部品の切り屑や紙屑を率先してビニール袋に回収してくれ、日頃校内の清掃、整頓の意識が浸透していることが大きな印象として残った。　神奈川（S）

10年　男子プラ

今回は3回目。8・9・10年の高学年が対象で少し作業には慣れてきたであろう生徒達になんとか自力で完成してもらいたい。競技会ではその力を発揮して賞を勝ち取ってほしいそんな思いでした。事前に説明書を拡大コピーし説明も

英語とネパール語を表記したものを準備し、作業行程を区切って確実に段階を踏めるよう工夫してみました。少し厳しく心苦しかったのですが、今回日本人スタッフの指導は口頭のみで一切手助けしないと明言し、授業に望みました。現地の先生と卒業生のサポートはお願いしましたが、作業をスタートし、行程を区切りながら段階を踏んで作業を行っていきました。今回の生徒の反応は今までとは違うものでした。部品切り取りや組み立てをスムーズに行える生徒達がほとんどで分からない行程があれば、説明書の図の前で何度も近寄って部品と図を照らし合わせ悩みながら組み立てる様子を見ることができたのです。説明書を理解し何が違うのか考えながら作業を行っている姿でした。

また早々と作業をこなした生徒達は出来ない友達を手伝い行程の遅れを取り戻す協力的な様子も見ることができました。過去1日を要していた作業をなんと二時間強で終える事ができたのです。しかも手助けなしに完成することが出来た生徒がほとんどです。本当に成長した素晴らしい姿を見せてくれましたし、そんな姿にとても感動致しました。

大勢のギャラリーの中、完成した車を持ってレースに望みました。学年別のレース、学年優勝者による総合チャンピオンレースは大いに盛り上がりました。翌日入賞者達は勝ち取った賞金を持って街へ買い物に行き、それぞれ思い思いの品を手にし、とても嬉しそうな姿を見せてくれました。今年も特別授業に携わらせていただき、試行錯誤様々に行って参りました。授業を素直に受けてくれる生徒達は着実に成長したその姿を私に見せてくれました。彼らの姿はなんとも言いがたい喜びを私の心に与えてくれます。一方で私自身がもっと成長しなければならないと気づかされることとなりました。

私の活動など大した事でなく本当に微力ではありますが、彼らの具体的な成長に繋がってくれればと願うばかりです。

このような機会を与えて下さり心から感謝しております。また来年参加させていただければ幸いです。　東京　（I）

○入賞者との買い物

今年も又、広島のM様がたくさんの本の付録を送って下さり、全校生徒のお土産や一年～五年までの景品などに使わせて頂きました。これまで入賞品は日本で買って持って行きましたが、重量の問題もあり、又日本の物価で規定額の商品を揃えるのが難しく、今回は初めての試みで8年～10年までの1等～3等と最優秀賞の生徒をポカラ市内で買い物ということにしました。

買い物に行く前に昼食を一緒にいただきました。ここで将来の夢を教えてくれました。医者や技術者やサービス業につきたいと自分の将来や夢をきちんと持って努力していることに誇らしく嬉しく思いました。お互いの家族について話したり、日本語を教えたりして打ち解けることが出来ました。

買い物エピソード

最優秀賞の男子と

プラモデル四駆の走行競技で最優秀賞を獲得した8年のラクス・タバ君とデパートで買物をしました。おとなしい生徒で、伺ったところでは両親がいなく、現在叔父さんの世話になっているとのことでした。まず3階の衣料売り場に行き、ジャージ上下服を探してブランド名が入ったのを購入しました。次に靴売り場で運動靴を買ったあと、食器皿を買いたいとのことで食器売り場に移って、いろいろ物色のあと、結局お皿は諦めて片手鍋を買いました。初めからお鍋の購入を考えていたようで、叔父さんにお世話になっている彼の気持であったと思います。叔父さんにどんなに良くしてもらっても、気

兼ねや遠慮があったであろうと思いました。

買う物はこれ以上ないとのことでショッピングは1時間未満で終わりました。彼が最優秀賞と一等賞でゲットした15，000ルピーから約5，000ルピーだけショッピングに支出し、残りは持ち帰りました。彼が最優秀賞を獲得できたことは心から良かったと思いました。

最後に、別れの握手をしたとき、緊張しながらも、うれしそうな表情でした。

一等男子と

今回、日本に招聘した卒業生大勢が手伝いに来てくれたなかで、私達のグループにモハン君が入ってくれました。彼の「僕に任せてください」の一言に託して、彼の主導で買い物がはじまりました。昼食の時に、入賞者の希望を聞いてくれていたこともあり、モハンくんの頭の中は限られた予算と時間の中で、入賞者の希望を叶えるべくフル回転の様子でした。「デパートは高いので外にでましょう」と、まず洋服店に入りお気に入りの洋服探しが始まりました。値段交渉をしている様子がこちらにも伝わってきました。私どもボランティアに対する気遣いも忘れずイスを探して座らせてくれたり、街を歩く時は絶えず後を振り返りグループの安全確認をしてくれました。お陰様で入賞者はジャケット・ジーンズ・スニーカー・ベルト・そして、科学の専門書・問題集と希望の品々を手にすることができ満足気でした。本を値引きさせているのには驚きました。モハン君あってこそ価値ある買い物でした。

一等女子と

男子卒業生にウルミナさんも加わって生徒が行ったのはデパートの洋服売り場です。ジャケット・ズボン・Tシャツなどを買うのに売り場の隅から隅まで歩き回りました。いろいろ試しては似合っているか友達の顔を見回しています。鏡が見当たりません

でした。ズボンを買うのに首回りでサイズを計っているのにはビックリです。後で試着室を見つけましたが、みんな首回りで買うそうです。次は、家庭用品売り場に行きました。

掃除用モップやマグカップ、ランチボックスなども買いました。途中何度も残金を示しましたが、少し控えているようでした。

最後に食料品売り場でチョコレートを少し買いました。

お金の価値を充分に思い自分達なりに考えての買い物だったように思いました。卒業生もウルミナさんも根気よく希望を聞き、探し回ってくれました。自分たちの物を見るということは一度もなく、会計の時はそばにいて値引き交渉をし会計をチェック、しっかりサポートしてくれ頼もしい限りでした。

三等女子と

エル・エンジェルのドウルガさんと賞金2000ルピー持って一緒にポカラのデパートで買い物をしました。ドウルガさんがネパール色のすごい派手なピンクのセーターを選んで私にこれ・どう?と自分にあてました。私はOKOKと言いました。だけどドウルガさんは値段がいくらかすごく気になっていました。値札の読み方や値段がわからないので卒業生の女の子にいろいろ教えてもらいました。セーターを買えました。

オシャレなズボンを店員の人に言ったら出してくれました。それがすごく気にいっていました。ズボンをあてたらまったくサイズがわからないので試着しようとすると試着室がない「え?ネパールのデパートには試着室がないの?」と聞きました。そしたらありました。

卒業生の男の子に案内してもらいました。さっそくドウルガさんが入り私が外で待っているとすぐドアを開けて一緒に入ろうと「おいで・おいで」と手で呼びました。すぐ入りました。

ズボンがきゅうきゅうではち切れそうでボタンがとまらないので一緒に手伝いました。はけたら喜んですぐレジに行きました。

楽しかったです。

○もう一つの成長

翌日入賞者の買い物に町中へ行きました。数人の生徒たちと日本人スタッフのグループに分かれ、そこに卒業生一人サポートについてくれたのですが、その卒業生達の成長ぶりに驚かされました。

学校の先輩、兄、リーダーという風格で生徒達の要望、予算を詳細に聞き店の並ぶ町へ我々を先導してくれました。

目的の店へ着くと「みなさんはゆっくり座っていてください。私が品物を一緒に選び店主と値段の交渉をします」と言って卒業生自ら後輩達の面倒を見、予算を計算しながら店主

と渡り合っているのです。数年前に学校や、来日した時に見た彼らからは想像もできない堂々とした姿を目の当たりにし驚きや感動を覚えました。貧しく何も無かったあの場所に学校が建ち、そこに通い教育を受け勉強した結果がこうして確実に結果に結びついていることをあらためて実感させていただく瞬間でした。

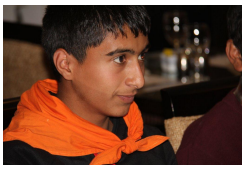
（東京Ｉ）

○成績上位４名カトマンズへ

エル・エンジェル校10年生の成績優秀者を４名カトマンズに招待しホテルに一泊しました。理事長の方針で一流ホテルのマナーの心得などを学びました。初めての飛行機に感動したと嬉しそうに話していました。将来の希望はビジェイ君はパイロット、サンブ君は医者、ジョウティさんも医者、サビタさんは看護師です。10年生は全員朝６時から、夜は６時まで学校で勉強しています。ビジェイ君は４時起きで５時には家を出ます。

サビタさん

ジョウティさん



ビジェイ君

サンブ君

校長他３人の先生が指導にあたられます。優秀校と私達は自負していますが一言ではいい表せない校長、先生、生徒の努力、どんな逆境もバネにするたくましさ、強い熱意を感じました。嬉しいことにこの**生徒４名はナーサリー（幼児）から通っている子ども達でした。12年間エル・エンジェル校の生徒です。**この子ども達が将来ネパール国を担ってくれることに期待したいと思います。

子ども達がこんなに努力していることを改めて報告できるのを嬉しく思います。

○文部省訪問

ポカラ市出身の国会議員（女性）がエル・エンジェル校の実状を確認したいとのことで私たちの宿泊先まで訪ねて来られました。前もって、当校のコミュニティメンバーであるスレンダラー氏が、優秀な生徒が多く、学校が狭くなって生徒が不自由をしていることを議員に伝えてくれていたことで「広い土地が必要ですね。国有地について、これからまず文部大臣に逢って話してください」・・・すでに大臣とアポイントをとってあり、すぐ、議員・先生・理事長・通訳をしてくださるＮ・Ｙさんとの４人で文部省を訪ねました。いろいろな質問を受けましたが、大臣にはある程度話が届いていたようで「・・・学校の近くに２５００平米の国有地がありますからエル・エンジェル校に提供するようにいたします」

との言葉をいただきました。大臣と同席された文部省の職員は（知性にとんだ容姿の方で役職も上のほうの方）、議員のご主人でもあり、力強く感じています。

○祈りの千羽鶴

このたび、エル・エンジェル校の生徒達に千羽鶴を折ってもらうことにしました。色紙３０００枚と共に、日本に於ける千羽鶴のいわれや、千羽鶴を奉納させていただく広島の原爆記念碑のことなどを英語で記入し、鶴の折り方の手順を図柄で大きく表したものを添えて置いて来ました。千羽鶴と共に垂らすリボンには、ネパール語で**「世界が平和でありますように」**と学校名とともに書いてもらいリボンは日本に持ち帰り、千羽鶴の出来上がりを待ちます。ネパールの子ども達は、一羽一羽に平和の祈りを込めて折ってくれることと信じます。

○卒業生その後

日本に招聘した子ども達が毎年会いに来てくれます。男子はホームステイ先のＳさんを見て嬉しそうにかけよりました。毎年男子の受け入れをしてくださっていたＳさんは懐かしい顔に会えて感慨深げでした。

ギータさんは看護師になっていました。昼間は仕事で来れなかったので夜、お父さんと一緒にホテルに訪ねてきました。子どもが大好きなので小児科で未熟児を担当していると、かわいい笑顔で話してくれました。

ウルミナさん　奨学金をもらって大学に通っています。たくさんの苦労をした頑張り屋です。そしてとても心づかいの細やかな優しい女の子です。

ゴータム君　医学生です。彼はとても優秀です。人柄もとても優れています。立派なお医者さんになることを信じています。彼のお兄さんは一期生です。彼も医者を志していたのでもう立派なお医者さんでしょう。

（学生の頃は会いに来ていました）

バストラ君　会計士の勉強に励んでいます。

アチャーヤ君　大学でコンピューターを教えているそうです。

ロジナさん　大学を出て大病院の検査技師。

ハリクリシュナ君　当協会の支援で今、専門学校に通っていて今年も日本人の側でサポートしてくれました。次年度は４年制の大学に進学にできるよう、勉強を頑張っているとのこと、彼の成長はとても嬉しい限りです。

～ こ こ ろ ～

敬うこころ

エル・エンジェル校のセレモニーの際、小さい子さえもきちんと列を乱すことなく立ち、ピンと背筋を伸ばし、まっすぐ前を見据えて、話を聞きます。教室では教師が入るなり生徒たちが一斉にさっと立ち上がり教師を迎えます。お手洗いから戻ったときは入り口で『入ってもいいですか?』と教師の了解を得て入ります。教師への敬意をみさせてもらいました。私たち日本人に対しても敬意に満ちた態度を示してくれていました。

怖い体験をして避難して来た子どもと、エル・エンジェル校の生徒達が一緒に学び遊ぶ姿を見て、弱い人を労わる心が育っていると嬉しい気持ちになりました。

師を敬い年長者を敬い、年少者を労わり、友を尊ぶ姿がそこにありました。まさしくダルマ（道徳）の道を歩んでいる姿です。

誰もが「ナマステ」と人なつこい笑顔で挨拶してくれる喜びの余韻に浸りながら、ネパールのよき文化というか風習がいつまでも残っていって欲しいと願います。

たくさんのトロフィー

校長室にトロフィーが飾ってありました。ポカラ市で主催するスポーツの大会で６年生までのフットボール、９年生までのフットボール、バレーボールなどの優勝や２位、３位のトロフィー、盾、ポカラ市においての学校の勉強のトップ等々のたくさんのトロフィーでした。運動でも勉強でも優秀です。校長や先生方の頑張りを感じます。

先生方にボーナスを

日頃の校長はじめ先生方の生徒に対する教育の熱心さが随所に現れていて嬉しく思います。成績・モラルの向上・美化に対する指導など一重に先生方の尽力の賜物と、今回先生方に特別にボーナスをお渡しして来ました。一層の励みになることでしょう。

○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしくお願いいたします。

○ 支援金振込先　郵便口座　口座名　特定非営利活動法人エル・エンジェル
記号　１０２９０　口座番号　６８１０７１９１
ゆうちょ銀行　口座名　特定非営利活動法人エル・エンジェル
店名　（０２８）　店番　（０２８）　普通預金　口座番号　６８１０７１９
三菱東京ＵＦＪ銀行　口座名　特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会
海老名支店（４０９）　普通預金　口座番号　０９６６５９７

お願い

スクールバス購入にあたり

エル・エンジェル校の１０年生の担任と校長は、１０年生の為、朝６時から、そして放課後も生徒たちの進学に向け特別授業をされています。先生方の熱心さに心打たれます。その授業を受けるため生徒たちは、**朝夕、暗い道を１～２時間かけて歩いて登校している**とのことです。「暗い道ですので、生徒たちの身が案じられます。バスがもう一台あれば助かります」との校長からの依頼に当協会としてバスを購入するよう伝えてきました。

ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

愛をつなぐ天使

お求めいただいた方から嬉しいお声が届いています。お友達にプレゼントさせていただいてから、７日後に会ったとき「この天使を手にしてから、心が穏やかになって、不思議な気が・・・ありがとう。と言われました」とのこと。嬉しいお言葉とともに愛の天使は広く羽ばたいています。

この季節、あなたの愛を天使に込めてクリスマスのプレゼントにいかがですか。

Ｓさまたち、一針一針に、心をこめてどんどんお作りいたしております。宜しくお願い致します。

編集後記

ボランティアをさせて頂きとても嬉しく思いました。子ども達から優しさや気遣う心、目標に向かって頑張っている姿を見せて頂きました。

私もしっかり自分の道を歩んでいけたらと思いました。

来る年が皆様にとって良い年でありますように、また子ども達にとって幸せでありますようにお祈り申し上げます。

（Ｔ・Ｉ）